

医学的リハビリテーション

理学療法・作業療法の目的及び内容

1. 機能の維持、回復
 - ・関節可動域維持、拡大
 - ・上肢協調性、巧緻性改善
 - ・筋力維持、増強
 - ・全身調整能力及び体力向上
 - ・高次脳機能障害に対するアプローチ
2. 代償能力、残存能力の拡大及び強化
 - ・健側強化
 - ・車いす操作訓練
 - ・利き手交換訓練
 - ・自助具及び装具の検討、作製、申請援助
 - ・高次脳機能障害に対する代償能力促進
 - ・住宅改造及び福祉用具など生活環境調整援助
 - ・ADLの安定及び効率化指導
 - ・調理訓練、公共交通機関の利用、自動車改造などの日常生活関連動作訓練
3. その他
 - ・ホームプログラム指導
 - ・退所先への申し送り書作成
 - ・身障手帳等級変更援助
 - ・個別相談など

対象者

- ・入所後、身体面・高次脳機能障害面・日常生活面等
- ・訓練内容については嘱託医と検討し、処方箋をもとに実施
- ・カリキュラムについては利用者の担当職員とも検討する。
- ・最終的にケース会議にて決定される。

理学療法

1. 運動療法
 - ・関節可動域訓練
 - ・筋力増強、維持訓練
 - ・バランス訓練
 - ・歩行訓練
 - ・各種体操指導（腰痛体操、他）
2. 物理療法

- ・温熱療法…ホットパック、電気治療

3. その他

- ・寮内日常生活動作の改善及び効率化
- ・住宅改造及び福祉用具など生活環境調整援助
- ・補装具、義足、車椅子のチェック、装具申請援助



作業療法

1. 個別訓練

- ・日常生活動作訓練（ADL訓練）
- ・巧緻動作訓練
- ・片手・両手動作訓練
- ・高次脳機能障害に対するアプローチ
（集中力・記憶力・問題解決など）
- ・自助具・簡易装具の作成



2. 集団訓練

（革細工）

- ・毎週木曜第4～5限に実施

3. 日常生活訓練

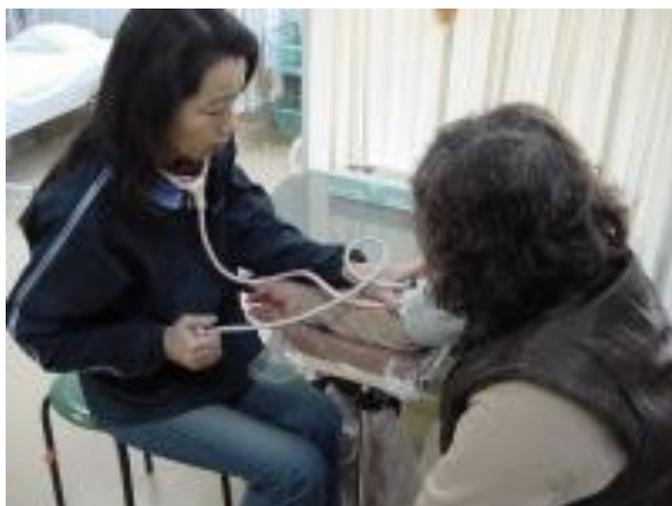
- ・バリアフリー仕様の自立生活訓練室
- ・台所、浴室



革細工

健康管理

1. 日常の健康管理
 - ・毎朝血圧測定などバイタルチェック
 - ・定時薬のセットや服薬確認
 - ・病院受診援助
2. その他
 - ・嘱託医(整形外科)来所:月2回
 - ・体重測定:月1回
 - ・健康診断:年2回



栄養管理

1. 給食に関する方針

家庭的な雰囲気です適温の食事をとれるようにする。
思考調査、給食会議を行い利用者の意見を取り入れる。
セレクトメニューや行事など食事を楽しめる工夫をする。

2. 栄養量の状況

平成23年12月現在

	エネルギー	たんぱく質	カルシウム	ビタミンC
栄養基準量	1,800kcal	50.0g	600mg	100mg



食事の一例



行事食

生活関連動作領域のグループ訓練プログラム

1. 目的

利用者個々の目指す生活の実現に向けて、生活を営む技術や方法を医学的リハビリテーションの分野で実践しスキルの向上に繋がります。ひいては「主体的に生きる力」社会生活力の向上と積極的な社会参加に繋げることを目的とします。

2. 対象者

その都度、提示するメニューに応じて該当する利用者を適宜判断します。

3. 実施方法

主に、生活関連動作領域のグループ訓練プログラムを月に2～3回のペースで行います
移動・・・屋外移動／交通機関の利用／他

対象者：単独での移動経験が少ない若年層

交通機関利用の訓練が必要なメンバー

内容：低床バス、リフトバスのバス時刻調べなどについての学習。／交通機関利用の後、反省、課題として今後、生活の中に取り入れていく話し合い。／他

家事動作・・・調理訓練／買い物／衣類整理／清掃／他

対象者：単身生活を目標としている中高年層の片麻痺男性グループ

単身生活を目標としており、病後、調理の経験が少ない片麻痺女性グループ

内容：片手動作練習、基本的調理方法学習、栄養のバランス、予算と献立

余暇活動・・・創作活動／スポーツレク／他

対象者：施設生活・家庭生活を目指す利用者の若年層、中高年層

内容：創作／グランドゴルフまたは風船バレー



外出訓練～交通機関の利用



調理実習